

第26回「議員と語りかい」報告書

4班 (No.1)

開催日	平成30年 5月11日(金) 19時00分 ~ 20時30分		
開催場所	霧島公民館		
団体名	向田地区自治公民館、大川地区自治公民館 中央地区自治公民館、湯之宮地区自治公民館 待世地区自治公民館	参加 人員	12人 (男10人:女2人)
出席議員	前川原正人、植山 利博、新橋 実、木野田 誠、川窪 幸治、宮田 竜二		
役割分担	班長(木野田 誠) 副班長(川窪 幸治) 記録係(宮田 竜二)		
テーマ及び具 体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・旧霧島町、地区自治公民館の課題について ・中央地区付近の急傾斜地崩壊2個所の安全対策早期対応について 		

意見 交 換 で の 主 な 意 見 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	<p>◆急傾斜崩壊危険箇所(吉村団地、農協裏)の現地調査結果はどうか。</p> <p>◇急傾斜地対策になると、土地が無償提供となるため、地権者との協議が必要。 県が実施する治山事業との兼ね合いが必要。</p> <p>霧島市内の急傾斜地は677か所あり、優先順位を決めて対応中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霧島市が実施：国分地区1か所、隼人地区2か所が対応中 ・鹿児島県が実施：→国分地区2か所、横川地区2か所、霧島地区1か所、隼人地区2か所 <p>◆新燃岳の火山灰が田んぼに蓄積することで問題はないのか。硫黄山の噴火により近隣では、河川の水質状況がどうかと取り出たされている。田んぼの植付けの時期も近付いているので、霧島市の状況を早く報告・広報してほしい。風評被害が懸念される。</p> <p>◇5月7日月曜日に水質調査を行い、その結果が5月11日にでた。その結果は異常なしとのことだった。本日記者会見もされたとのことであった。</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆高齢化による空き家対策について、霧島地区の場合、地区外の方が移住して新規就農しようとしても農地面積の基準が広くて現実化が難しい。日置市のように農地面積の基準を狭くすべきだ。

移住者を増やすには、現在のADSLから光ファイバーストランドにすべき。

◇霧島市も人口減対策については様々な手法をもってやっていくように考えている。光ファイバーストランドの設置については、市長も議員も同じ考えを持っており、現在検討し始めている。

◆霧島地区は観光地なのに、霧島神宮駅に看板が無い。海外旅行者向けの言語案内が無い。今の旅行者はスマホを持っているのでそれが利用できるようにできないか。

高齢者が免許返納した際、霧島神宮駅周辺の交通の便が悪い。

◇看板整備については、今後外国人客に対して対応できるようになると考えている。

霧島地域は、永水地区、向田地区のデマンド交通が既に運用されている。霧島神宮駅周辺の運用は決まっていらないが、デマンド交通は今後広がっていく。霧島神宮駅の利便性については、JRやバス会社など民間と協力して全体的な対応が必要だと考える。

◆グループホーム施設があるが、老後は住み慣れた地域、仲間と一緒に過ごしたい。しかし、費用が高くて国民年金では入れない。

◇民間が出来なくなったことは、行政が最終的には行っていくべきと個人的には考えている。

◆議員と語ろかいでの意見交換した内容はどのように反映されるのか。

◇全員協議会で報告して内容によっては各委員会へ付託され、結果を市議会だよりで市民のみな様へフィードバックされる。また、議員が一般質問に取り入れ、本会議で議論される。

◆霧島地区には公園が無い。労災病院の跡地に公園ができないか。

◇都市計画に入っていないが、今まで議員が何度も進言している。引き続き働き掛けが必要。

◆グランドゴルフ、ゲートボール場は既にある。

◇要望されている公園のイメージは。

◆都市計画されるような子供が遊具で遊べる公園。

◇子供から老人まで利用できる広場があればいいのでは。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆観光地として霧島を良くするために県道60号線を整備・拡幅できないか。

◇移転費用の問題、用地交渉がネックになっている。

県道60号線の一部は、調査の予算が決まったので動きがあると思う。

◆移転費用が問題なのであれば、他の場所を通すバイパスは検討できないか。

◇県道60号線については、市を通して県に状況確認を要求する。

◆自治公民館が120戸→70戸に減った。子供が生まれた後の子育て支援は充実してきているが、子育て以前の婚活推進を議員でできないか。

◇議会の中でも婚活課題は多くの方が共通認識を持っており、市が公設の結婚相談所のようなものを運営してみてもどうかと提案している。また、商工会や商工会議所青年部も取り組みを始めている。鹿児島県も取り組みを始めている、霧島市でも再三議論しているので、「少しずつ実を結びつつあるのでは」と感じている。なお、霧島市は婚活イベントでの補助金は出している。

◆旧霧島町には農業ブランドが無い。就農、人口増のためにブランド化が必要と考える。

◇霧島の農産品のブランド化については、現在、ブランド認証を準備中。今、最終段階になっており、証書をどういったものに貼るかとか今協議中で9割出来ている。また、霧島市の文化と食の関係を考察して発展させる「霧島ガストロノミー」を推進している。

意見交換での主な意見等